

JDKのバージョンが混在した時の環境変数の設定と各バージョンのインストールの記録（windows版）

各バージョンのインストール記録は[以下](#)より

不要なファイルの削除と環境変数の設定

1. C:\Windows\System32\のjava*.exeが（あれば）削除
2. 環境変数JAVA_HOMEにC:\Program Files\Java\（JDKのフォルダ名）を設定。
ex: C:\Program Files\Java\jdk-10.0.2
3. 環境変数PATHに%JAVA_HOME%\binを追加。
4. 環境変数PATHからC:\Program Files (x86)\Common Files\Oracle\Java\javapathを（あれば）削除。
5. 環境変数PATHからC:\ProgramData\Oracle\Java\javapathを（あれば）削除。

バージョンの確認

```
> java -version
```

意図していないバージョンが表示される場合

レジストリに古いバージョンのデータが残っている可能性があるので、マイクロソフトから提供されている[自動修正プログラム](#) MicrosoftProgram_Install_and_Uninstall.meta.diagcab で「アンインストール」を選び、必要なバージョン以外のJavaを削除する（[参考](#)）

JDKの各バージョンのインストール記録（windows版）

他のjavaが入っていない状態でJREをインストール

インストーラーの場所

```
jre-8u181-windows-x64
```

インストーラーのインストール先

```
C:\Program Files\Java\jre1.8.0_181
```

環境変数の変更点

PATHにC:\Program Files (x86)\Common Files\Oracle\Java\javapathが追加された。

バージョンの確認

```
1 >java -version
2 java version "1.8.0_181"
3 Java(TM) SE Runtime Environment (build 1.8.0_181-b13)
4 Java HotSpot(TM) 64-Bit Server VM (build 25.181-b13, mixed mode)
5 >where java
6 C:\Program Files (x86)\Common Files\Oracle\Java\javapath\java.exe
```

アンインストール

Windowsの設定>アプリと機能からアンインストール

PATHにC:\Program Files (x86)\Common Files\Oracle\Java\javapathは削除された。

他のjavaが入っていない状態でJDKをインストール

[こちら](#)からOracleのダウンロードページに直接飛べる。

1.8未満をダウンロードするには、Oracleのアカウントが必要（無料）。

JDK1.5

インストーラーの場所

[jdk-1_5_0_22-windows-amd64.exe](#)

インストーラーのインストール先

c:\Program Files\Java\jdk1.5.0_22

環境変数の変更点

PATHが通っていない。

```
1 >java -version
2 'java' は、内部コマンドまたは外部コマンド、
3 操作可能なプログラムまたはバッチ ファイルとして認識されていません。
4
5 >where java
6 情報： 与えられたパターンのファイルが見つかりませんでした。
```

環境変数の設定

1. 「システム環境変数」で、環境変数JAVA_HOME（無ければ「新規」）にC:\Program Files\Java\jdk1.5.0_22を設定
2. 環境変数PATHに%JAVA_HOME%\binを追加。

バージョンの確認

```
1 >java -version
2 java version "1.5.0_22"
3 Java(TM) 2 Runtime Environment, Standard Edition (build 1.5.0_22-b03)
4 Java HotSpot(TM) 64-Bit Server VM (build 1.5.0_22-b03, mixed mode)
```

アンインストール

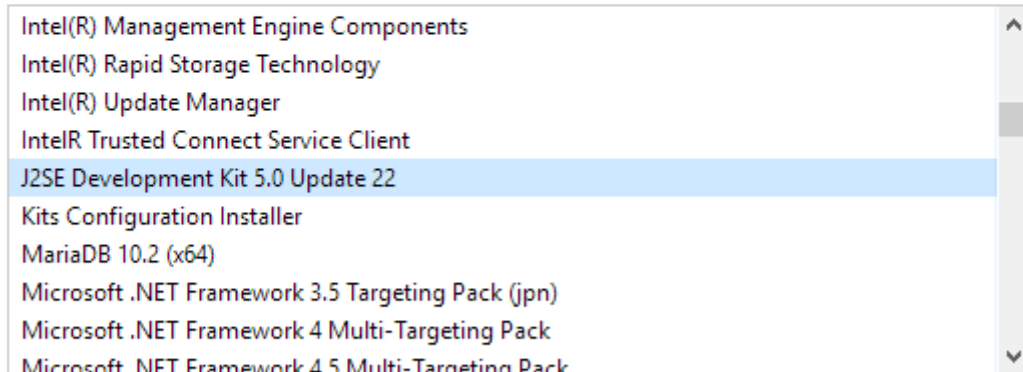
Windowsの設定>アプリと機能に登録なし。アンインストーラーも無い。

マイクロソフトから提供されているMicrosoftユーティリティを使う（[参考](#)）。

←  プログラムのインストールとアンインストールのトラブルシューティングツール

アンインストールするプログラムを選択します。

ご使用のプログラムが表示されていない場合は、[一覧にない]を選択します。



次へ(N)

キャンセル

JDK1.6

インストーラーの場所

`jdk-6u45-windows-x64.exe`

インストーラーのインストール先

`C:\Program Files\Java\jdk1.6.0_45`

環境変数の変更点

環境変数に追加なし。

しかし、ディレクトリ `C:\Windows\System32\` にも `java.exe` がインストールされる。

```
1 >where java
2 C:\Windows\System32\java.exe
3
4 >dir C:\Windows\System32\java*.exe
5
6 C:\Windows\System32 のディレクトリ
7
8 2018/08/06  17:24                172,976  java.exe
9 2018/08/06  17:24                172,976  javaw.exe
10 2018/08/06  17:24                196,528  javaws.ex
```

この3つのファイルは `C:\Program Files\Java\jdk1.6.0_45\` と同一のもの。

環境変数の設定

1. `C:\Windows\System32\` の `java*.exe` を削除

2. 環境変数JAVA_HOMEにC:\Program Files\Java\jdk1.6.0_45を設定。
3. 環境変数PATHに%JAVA_HOME%\binを追加。

バージョンの確認

```

1 >java -version
2 java version "1.6.0_45"
3 Java(TM) SE Runtime Environment (build 1.6.0_45-b06)
4 Java HotSpot(TM) 64-Bit Server VM (build 20.45-b01, mixed mode)

```

アンインストール

Windowsの設定>アプリと機能から削除。



JDK1.7

インストーラーの場所

[jdk-7u80-windows-x64.exe](#)

インストーラーのインストール先

C:\Program Files\Java\jdk1.7.0_80\

環境変数の変更点

環境変数に追加なし。

しかし、ディレクトリ C:\Windows\System32\ にもjava.exeがインストールされる。

```

1 >where java
2 C:\Windows\System32\java.exe
3
4 >dir C:\Windows\System32\java*.exe
5
6 C:\Windows\System32 のディレクトリ
7
8 2018/08/06  17:24                172,976 java.exe
9 2018/08/06  17:24                172,976 javaw.exe
10 2018/08/06  17:24                196,528 javaws.ex

```

この3つのファイルはC:\Program Files\Java\jdk1.7.0_80\と同一のもの。

環境変数の設定

1. C:\Windows\System32\のjava*.exeを削除
2. 環境変数JAVA_HOMEにC:\Program Files\Java\jdk1.7.0_80を設定。
3. 環境変数PATHに%JAVA_HOME%\binを追加。

バージョンの確認

```

1 >java -version
2 java version "1.7.0_80"
3 Java(TM) SE Runtime Environment (build 1.7.0_80-b15)
4 Java HotSpot(TM) 64-Bit Server VM (build 24.80-b11, mixed mode)

```

アンインストール

Windowsの設定>アプリと機能から削除。



JDK1.8

インストーラーの場所

[jdk-8u181-windows-x64.exe](#)

インストーラーのインストール先

C:\Program Files\Java\jdk1.8.0_181\

環境変数の変更点

PATHにC:\Program Files (x86)\Common Files\Oracle\Java\javapathが追加された。

この変数はver1.8より追加されている (1.9移行は別フォルダ)。

javapathはシンボリックリンクで、実体は同じJavaフォルダ内のjavapath_target_。この下に、java.exeファイルがある。

C:\Program Files (x86)\Common Files\Oracle\Java\javapath\java.exeは実行ファイル (シンボリックリンクではない)

バージョンが混在した時のことも考慮し、C:\Program Files (x86)\Common Files\Oracle\Java\javapathは削除する。

環境変数の設定

1. 環境変数JAVA_HOMEにC:\Program Files\Java\jdk1.8.0_181を設定。
2. 環境変数PATHからC:\Program Files (x86)\Common Files\Oracle\Java\javapathを削除。
3. 環境変数PATHに%JAVA_HOME%\binを追加。

バージョンの確認

```

1 >java -version
2 java version "1.8.0_181"
3 Java(TM) SE Runtime Environment (build 1.8.0_181-b13)
4 Java HotSpot(TM) 64-Bit Server VM (build 25.181-b13, mixed mode)
5
6 >where java
7 C:\Program Files\Java\jdk1.8.0_181\bin\java.exe

```

アンインストール



アンインストールすると、環境変数PATHのC:\Program Files (x86)\Common Files\Oracle\Java\javapathも削除される

JDK1.9

インストーラーの場所

jdk-9.0.4_windows-x64_bin.exe

インストーラーのインストール先

C:\Program Files\Java\jdk-9.0.4\

環境変数の変更点

PATHにC:\ProgramData\Oracle\Java\javapathが追加された。

この変数はver1.9より追加されている (1.8とフォルダが異なる)

javapathはシンボリックリンクで、実体は同じJavaフォルダ内のjavapath_target_*。この下に、java.exeファイルがある。

C:\ProgramData\Oracle\Java\javapath\java.exeは実行ファイル (シンボリックリンクではない)

以下の2つのファイルは同一ではない (バイナリ比較)

- C:\Program Files\Java\jdk-9.0.4\bin\java.exe
- C:\ProgramData\Oracle\Java\javapath\java.exe

バージョンが混在した時のことも考慮し、C:\ProgramData\Oracle\Java\javapathは削除する。

環境変数の設定

1. 環境変数JAVA_HOMEにC:\Program Files\Java\jdk1.9.4を設定。
2. 環境変数PATHからC:\ProgramData\Oracle\Java\javapathを削除。
3. 環境変数PATHに%JAVA_HOME%\binを追加。

バージョンの確認

```

1 >java -version
2 java version "9.0.4"
3 Java(TM) SE Runtime Environment (build 9.0.4+11)
4 Java HotSpot(TM) 64-Bit Server VM (build 9.0.4+11, mixed mode)
5
6 >where java
7 C:\Program Files\Java\jdk-9.0.4\bin\java.exe

```

アンインストール



アンインストールすると、環境変数PATHのC:\Program Files (x86)\Common Files\Oracle\Java\javapathも削除される

JDK1.10.2 (最新バージョン)

このバージョンについて

[公式ページのロードマップ](#)より

- Java11からOracleJDKは有償となり、OpenJDKが無償バージョンとして扱われる。
- 2018年9月リリース予定。
- Java11からリリースサイクルが6ヶ月となる。
- 新バージョンが出ると、以前のバージョンは有償サポートとなる。
- 無料での利用は、実質6ヶ月ごととなる。

インストーラーの場所

[jdk-10.0.2-windows-x64_bin.exe](#)

インストーラーのインストール先

C:\Program Files\Java\jdk-10.0.2\

環境変数の変更点

PATHにC:\ProgramData\Oracle\Java\javapathが追加された。

この変数はver1.9より追加されている (1.8とフォルダが異なる)。

javapathはシンボリックリンクで、実体は同じJavaフォルダ内のjavapath_target_*。この下に、java.exeファイルがある。

ver1.10.2では、C:\ProgramData\Oracle\Java\javapath\java.exeは実行ファイル (シンボリックリンクではない)

以下の2つのファイルは同一ではない (バイナリ比較)

- C:\Program Files\Java\jdk-10.0.2\bin\java.exe
- C:\ProgramData\Oracle\Java\javapath\java.exe

バージョンが混在した時のことも考慮し、C:\ProgramData\Oracle\Java\javapathは削除する。

環境変数の設定

1. 環境変数JAVA_HOMEにC:\Program Files\Java\jdk1.10.2を設定。
2. 環境変数PATHからC:\ProgramData\Oracle\Java\javapathを削除。
3. 環境変数PATHに%JAVA_HOME%\binを追加。

バージョンの確認

```
1 >java -version
2 java version "10.0.2" 2018-07-17
3 Java(TM) SE Runtime Environment 18.3 (build 10.0.2+13)
4 Java HotSpot(TM) 64-Bit Server VM 18.3 (build 10.0.2+13, mixed mode)
```

アンインストール

